

特定健康診査に関するアンケート調査 結果報告書

令和4年3月

釜石市

I 調査概要

1 調査の目的

釜石市国民健康保険第2期データヘルス計画第5章第3節第1項における保健事業特定健康審査及び未受診者対策の一環として、未受診者の意識や意向を把握することで、より効果的かつ効率的な健診制度を設計するために実施する。

2 調査設計

(1) 対象者

釜石市国民健康保険に加入している40～74歳の被保険者のうち令和3年度の特定健診が未受診者であった方

(2) 抽出方法及び対象者数

対象者の年齢構成を考慮し、年代別に無作為抽出を行った。

年代	対象者数
40代（40～49歳）	74
50代（50～59歳）	106
60代（60～69歳）	256
70代（70～75歳）	264
計	700

(3) 調査方法 アンケート調査票の郵送及びWeb形式

(4) 調査期間 令和4年1月25日から2月22日

3 回収状況

(1) 調査の配布・回収数及び回収率

配布数	回収数	回収率
700	341	48.7%

(2) 調査対象別配布・回収数及び回収率

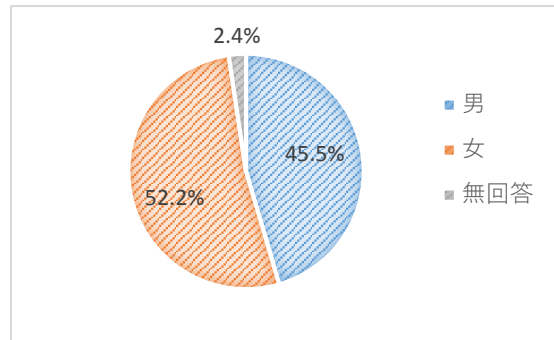
年代	配布数	回収数	回収率
40代（40～49歳）	74	19	25.7%
50代（50～59歳）	106	30	28.3%
60代（60～69歳）	256	128	50.0%
70代（70～75歳）	264	159	60.2%
不明	—	5	—
計	700	341	48.7%

Ⅱ 設問別調査結果

問1 あなた自身のことについてそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください

① 性別

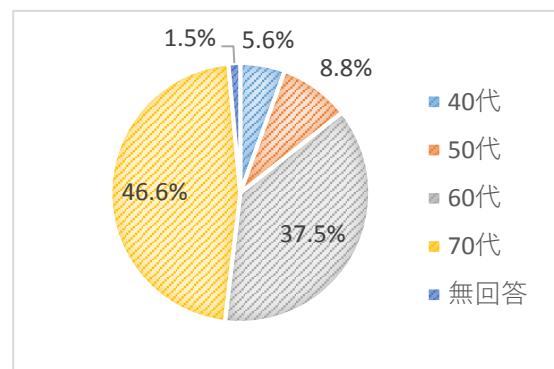
選択肢	回答者数	回答割合
男性	155 人	45.5%
女性	178 人	52.2%
無回答	8 人	2.4%



n=341

② 年代

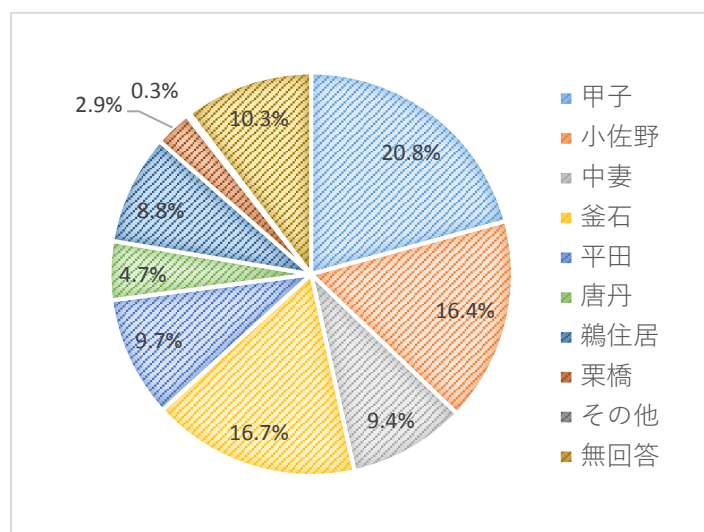
選択肢	回答者数	回答割合
40代	19 人	5.6%
50代	30 人	8.8%
60代	128 人	37.5%
70代	159 人	46.6%
無回答	5 人	1.5%



n=341

③ お住まいの地域

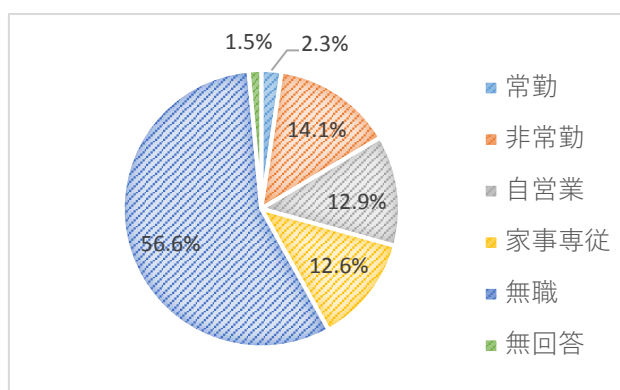
選択肢	回答者数	回答割合
甲子	71 人	20.8%
小佐野	56 人	16.4%
中妻	32 人	9.4%
釜石	57 人	16.7%
平田	33 人	9.7%
唐丹	16 人	4.7%
鵜住居	30 人	8.8%
栗橋	10 人	2.9%
その他	1 人	0.3%
無回答	35 人	10.3%



n=341

④ 職業

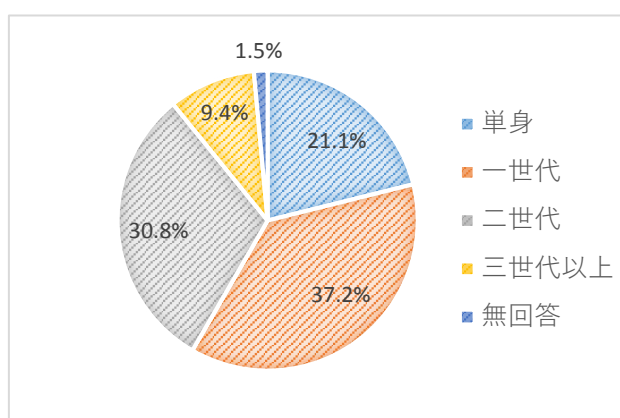
選択肢	回答者数	回答割合
常勤	8 人	2.3%
非常勤	48 人	14.1%
自営業	44 人	12.9%
家事専従	43 人	12.6%
無職	193 人	56.6%
無回答	5 人	1.5%



n = 341

⑤ 家族構成

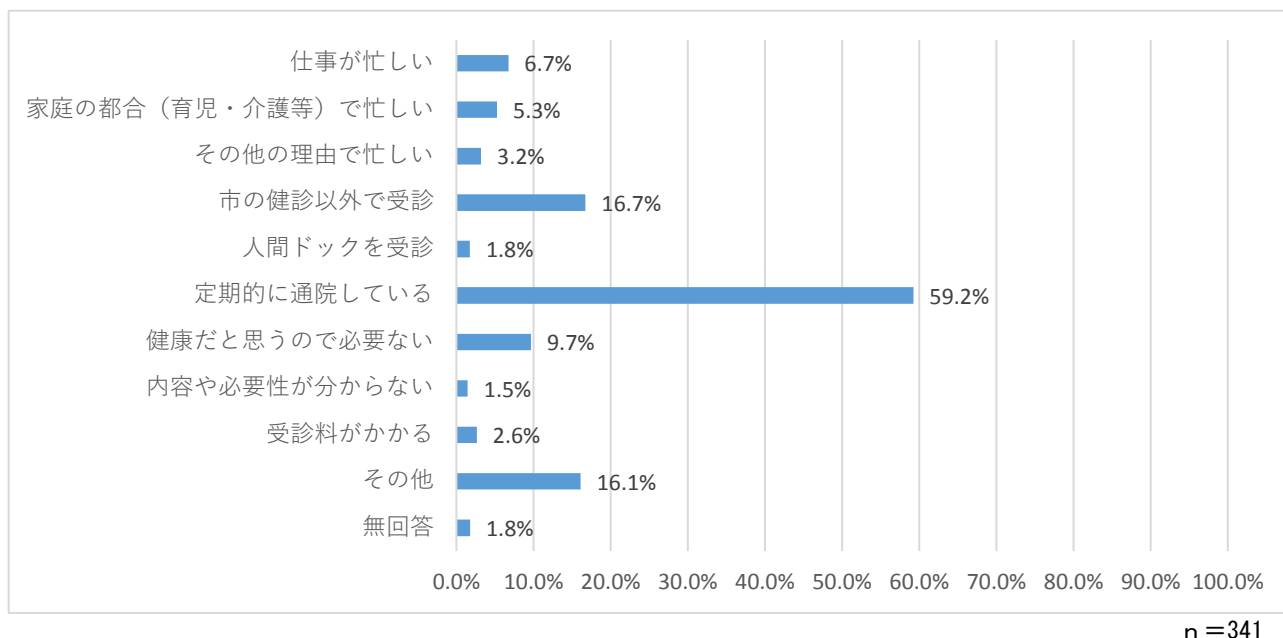
選択肢	回答者数	回答割合
単身	72 人	21.1%
一世代	127 人	37.2%
二世代	105 人	30.8%
三世代以上	32 人	9.4%
無回答	5 人	1.5%



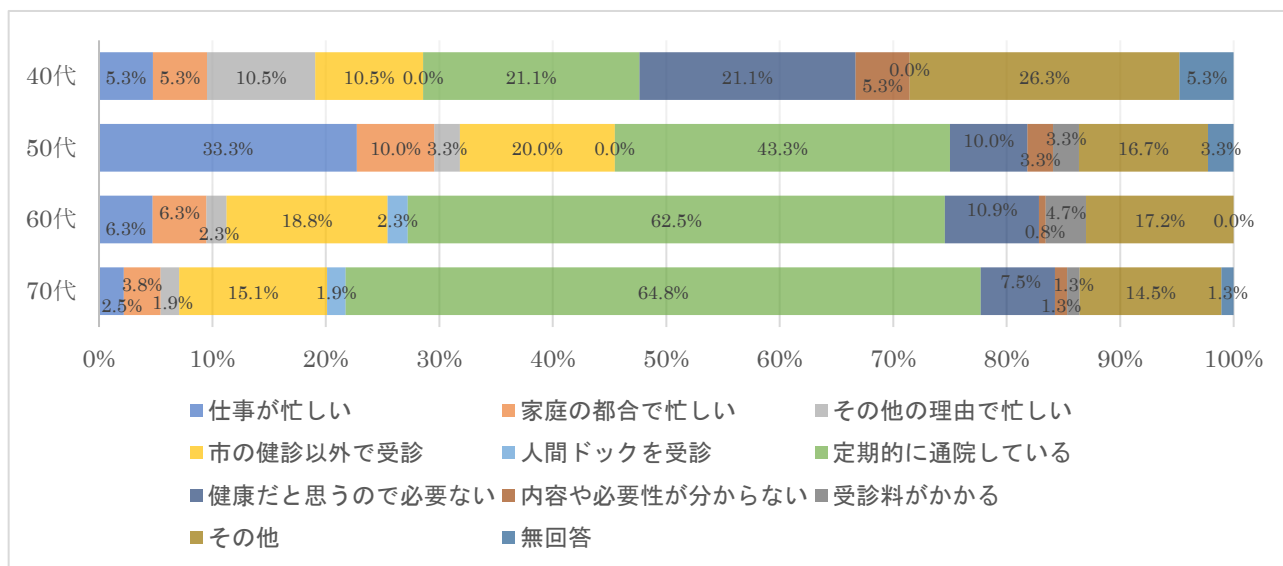
n = 341

問2 今年度健診を受診しなかった理由はなぜですか？（複数回答）

- 「定期的に通院しているから」と回答した方が 59.2%と最も多い。次いで「市の健診以外で受診しているから」、「その他」と続く。

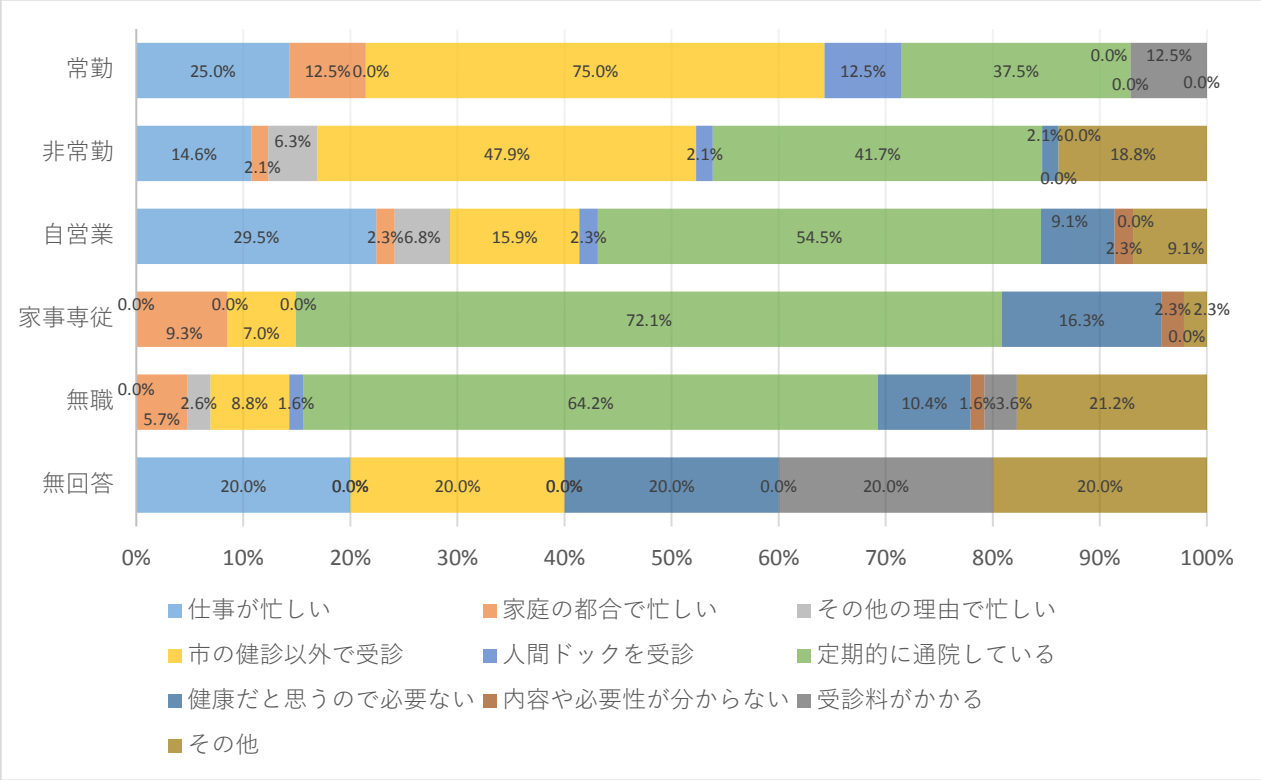


- 年代別に見ると、70代では「定期的に通院しているから」が最も多く、年代が若くなるにつれ、その割合は減少していく。



	1 位	2 位	3 位
40 代	その他	定期的に通院	健康だと思う
50 代	定期的に通院	仕事	市の健診以外で受診
60 代	定期的に通院	市の健診以外で受診	その他
70 代	定期的に通院	市の健診以外で受診	その他

- 職業別にみると、常勤・非常勤の方は「市の健診以外で受診」が最も多く、自営業・家事専従・無職の方は「定期的に通院している」が最も多い



n = 341

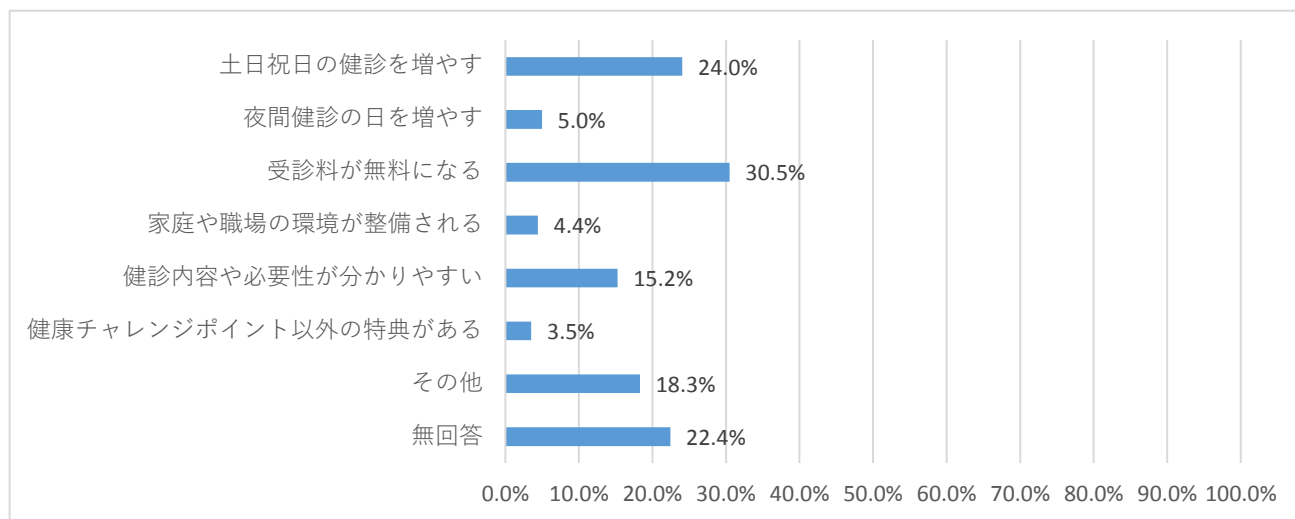
	1 位	2 位	3 位
常勤	市の健診以外で受診	定期的に通院	仕事が忙しい
非常勤	市の健診以外で受診	定期的に通院	その他
自営業	定期的に通院	仕事が忙しい	市の健診以外で受診
家事専従	定期的に通院	健康だと思う	家庭の都合
無職	定期的に通院	その他	健康だと思う
無回答	仕事が忙しい・市の健診以外で受診・健康だと思う・受診料がかかる・その他		

- 「その他」の主な内容は以下のとおり。

- ① 新型コロナウイルスに関すること（感染予防のため など）・・・・・・・・・・26%
- ② 時間や日程に関すること（時間・日程が合わなかった など）・・・・・・・・・・15%
- ③ 持病や体調に関すること（持病が思わしくなかった、体調不良 など）・・・・13%
- ④ 受診者自身に関すること（面倒だから、忘れていた など）・・・・・・・・・・13%

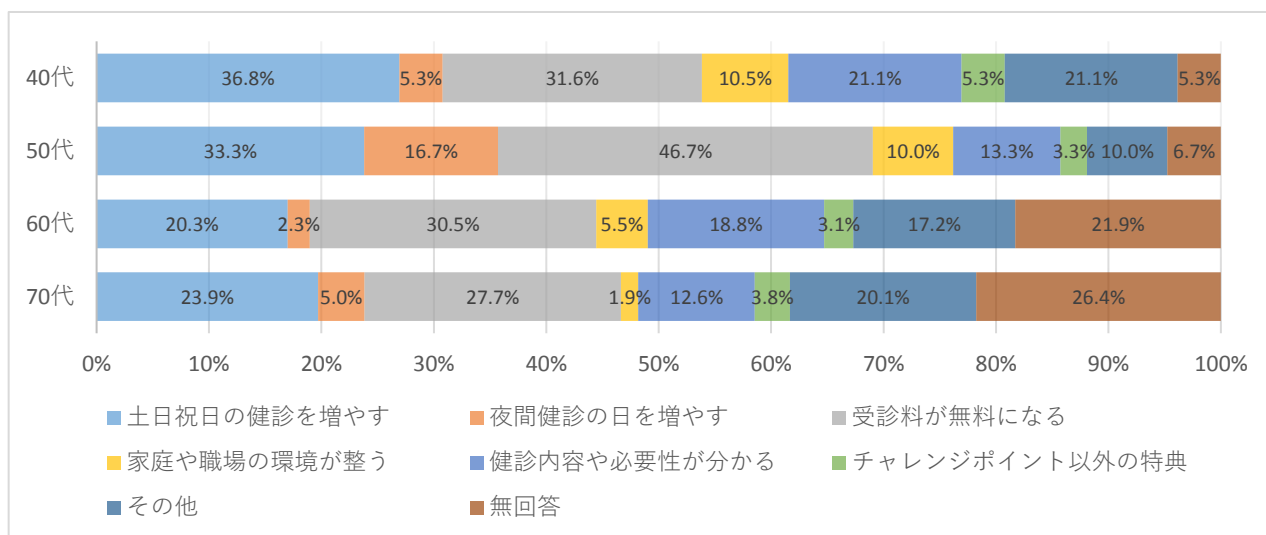
問3 どうすれば健診を受けやすくなりますか（複数回答）

- 「受診料が無料になる」と回答した方が 30.5%と最も多い。次いで「土日祝日の健診を増やす」が 24.0%
- 他の質問と比較し、無回答の方が 22.4%と多い。このうち 7 割が問 2 において「定期的に通院している」と回答した方



n=341

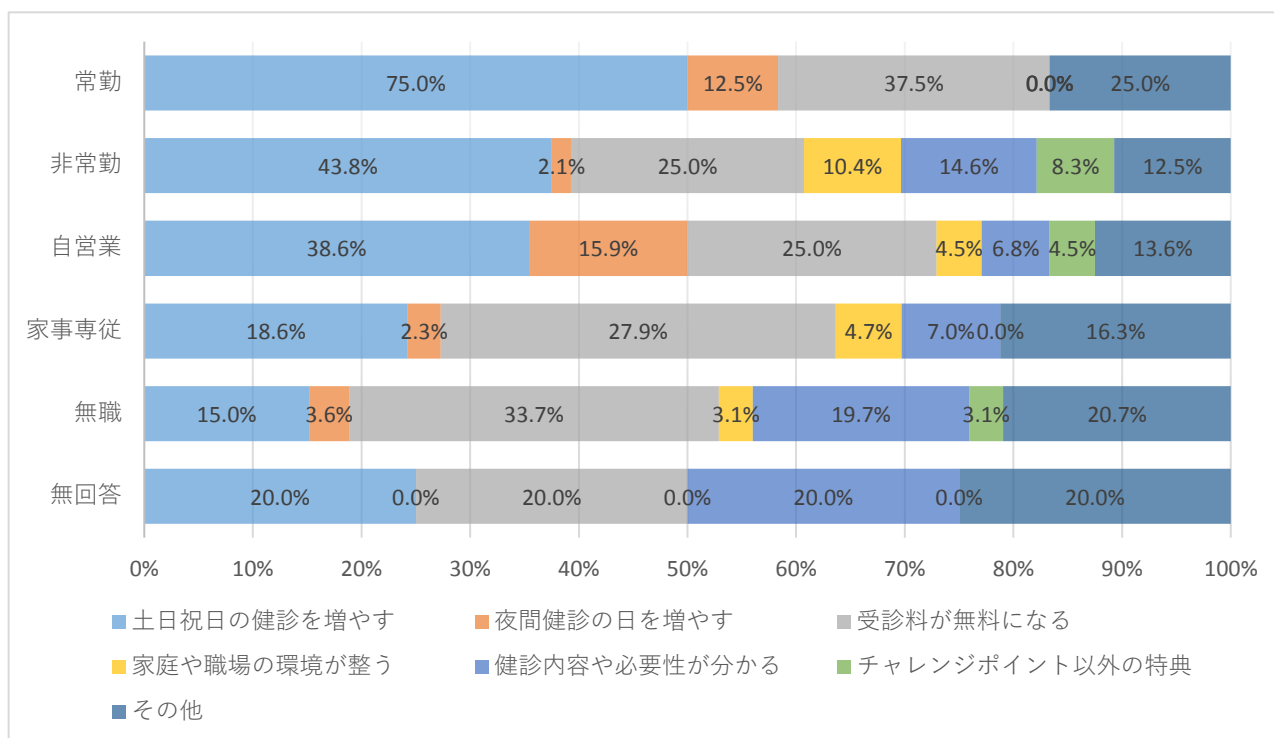
- 年代別に見ると、40代では「土日祝日の健診を増やす」と回答した方が最も多く、50代以上の世代では「受診料が無料になる」が最も多い。



n=341

	1 位	2 位	3 位
40 代	土日祝日	無料	内容や必要性
50 代	無料	土日祝日	夜間
60 代	無料	土日祝日	内容や必要性
70 代	無料	土日祝日	その他

- 職業別にみると、常勤・非常勤・自営業の方は「土日祝日の健診を増やす」が最も多く、家事専従・無職の方は「受診料が無料になる」が最も多い



n = 341

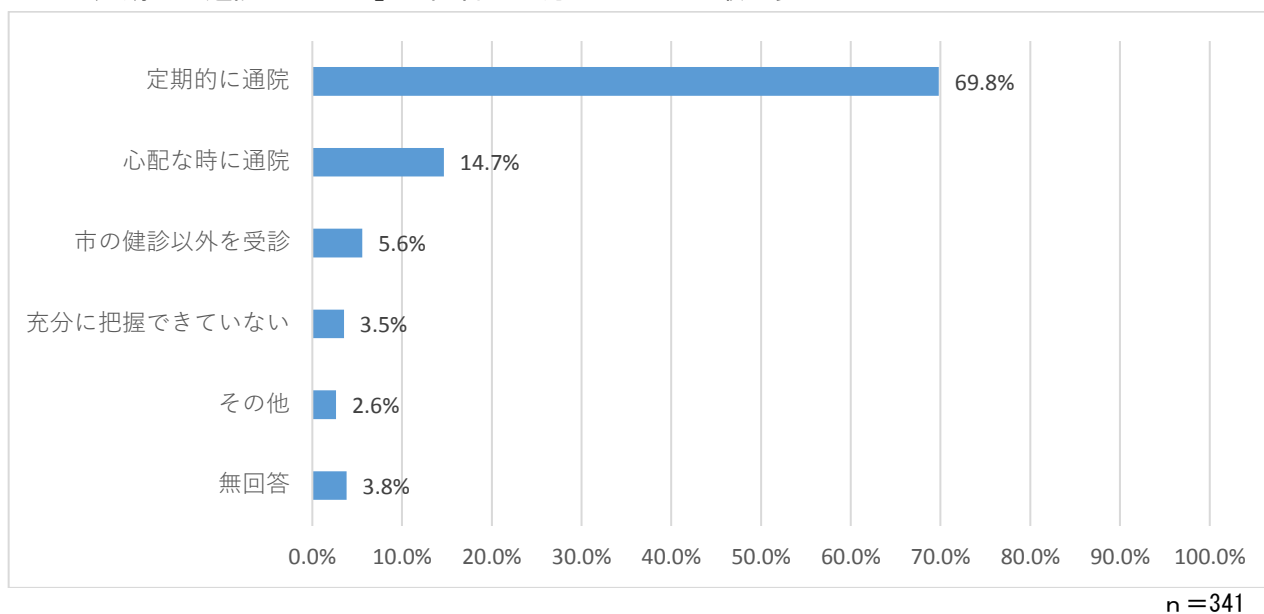
	1 位	2 位	3 位
常勤	土日祝日	無料	その他
非常勤	土日祝日	無料	内容や必要性
自営業	土日祝日	無料	夜間健診
家事専従	無料	土日祝日	その他
無職	無料	土日祝日	その他
無回答	土日祝日・無料・内容や必要性・その他		

- 「その他」の主な内容は以下のとおり。

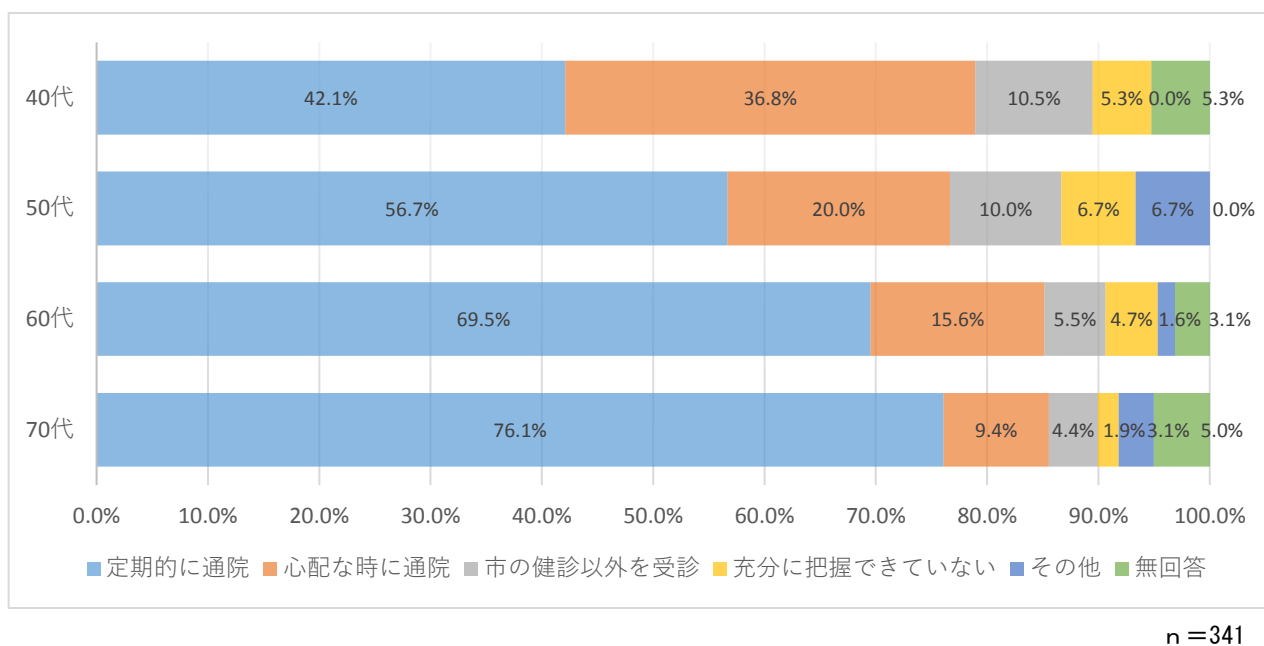
- ① 通院に関すること（かかりつけ医で受診できるようにして欲しい など）・・・23%
- ② 新型コロナウイルスに関すること（コロナの収束 など）・・・・・・15%
- ③ 交通手段に関すること（健診場所まで遠い、車がない など）・・・・・・10%

問4 あなたの健康状態の把握方法（1つ選択）

- 「定期的に通院している」と回答した方が69.8%と最も多い

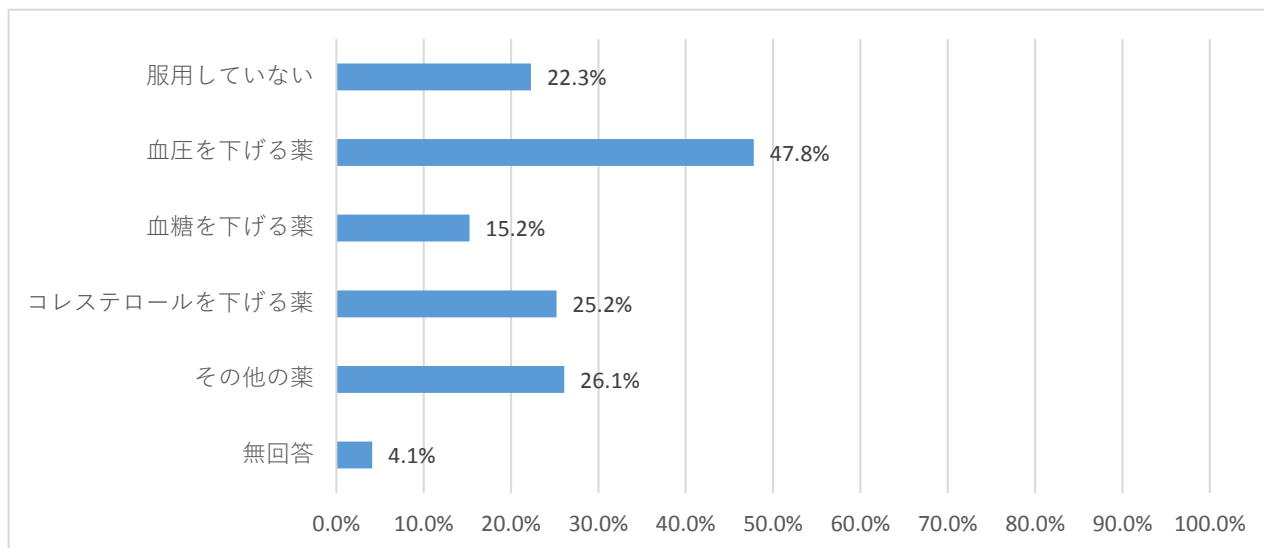


- 年代別に見ても同様の結果で「定期的に通院している」が最も多く、年代が上がるにつれてその割合は高くなる。反対に「心配な時に通院している」の割合は年代が上がるにつれて低くなる



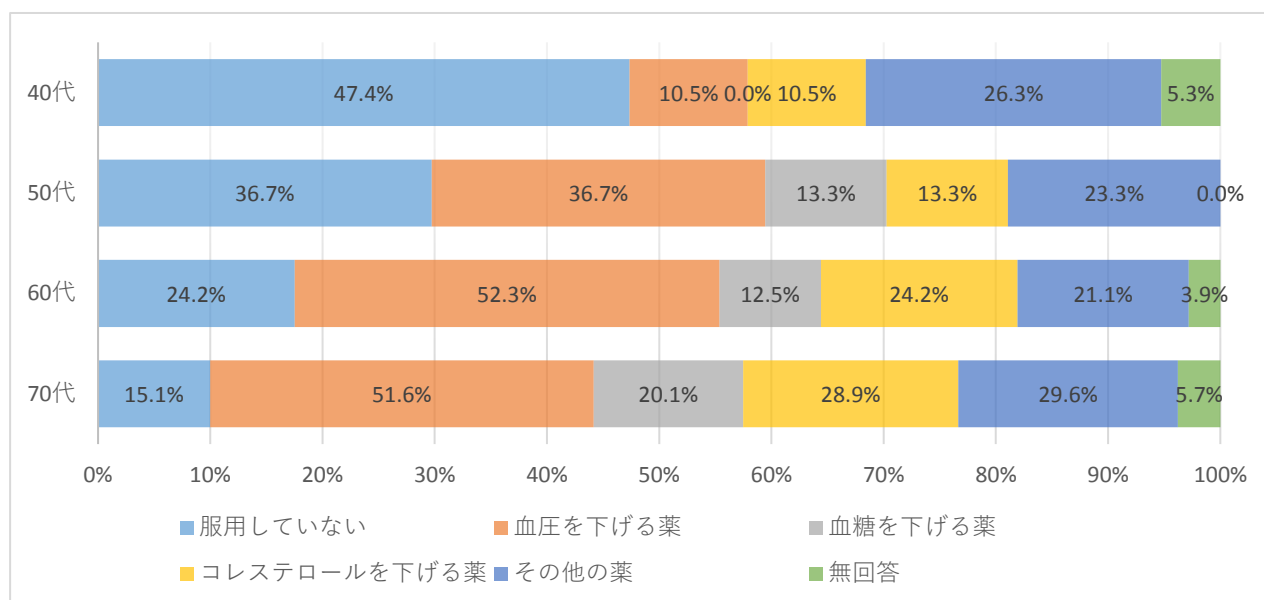
問5 現在服用している薬について（複数回答）

- 「服用していない」と回答した方が22.3%
- 47.8%の方が血圧を下げる薬を服用している



n = 341

- 年代別に見ると40代・50代の方は「服用していない」が最も多いが、年代が上がるにつれて薬を服用している割合が高くなっている。60代・70代では半分以上の方が血圧を下げる薬を服用している



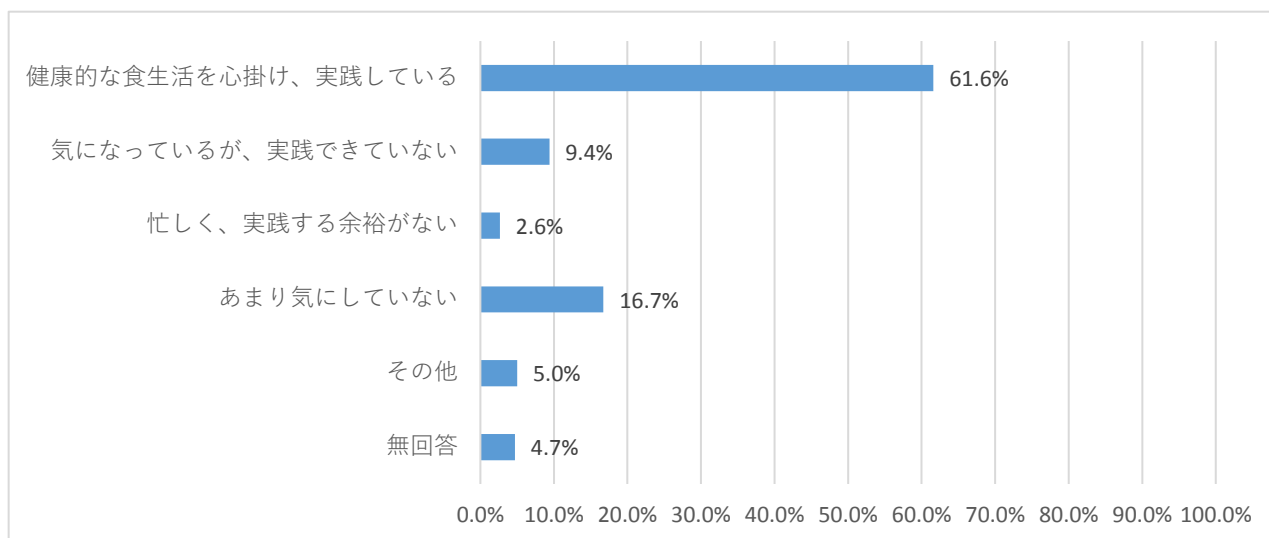
n = 341

- 「その他の薬」の主な内容は以下のとおり。

血液をサラサラにする薬、精神薬、胃の薬、肝臓の薬、骨粗鬆症の薬、リュウマチの薬、ぜん息の薬、アレルギー薬 など

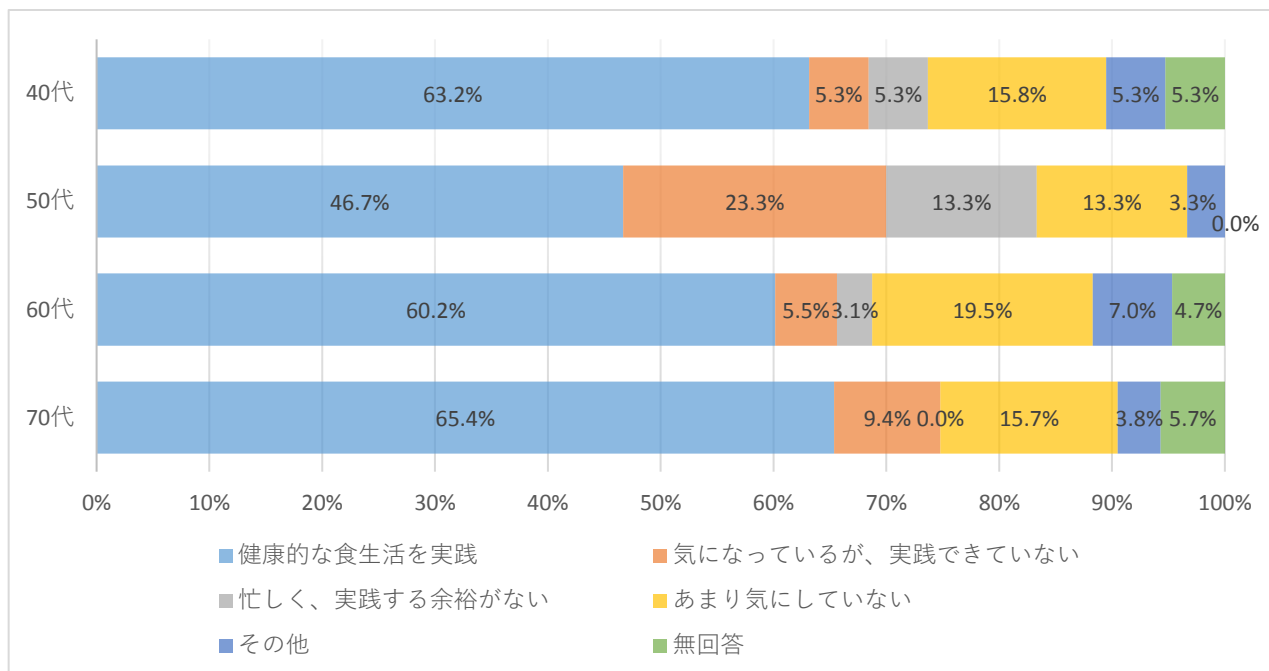
問6 食生活について（1つ選択）

- 「健康的な食生活を心掛け、実践している」と回答した方が61.6%と最も多い



n=341

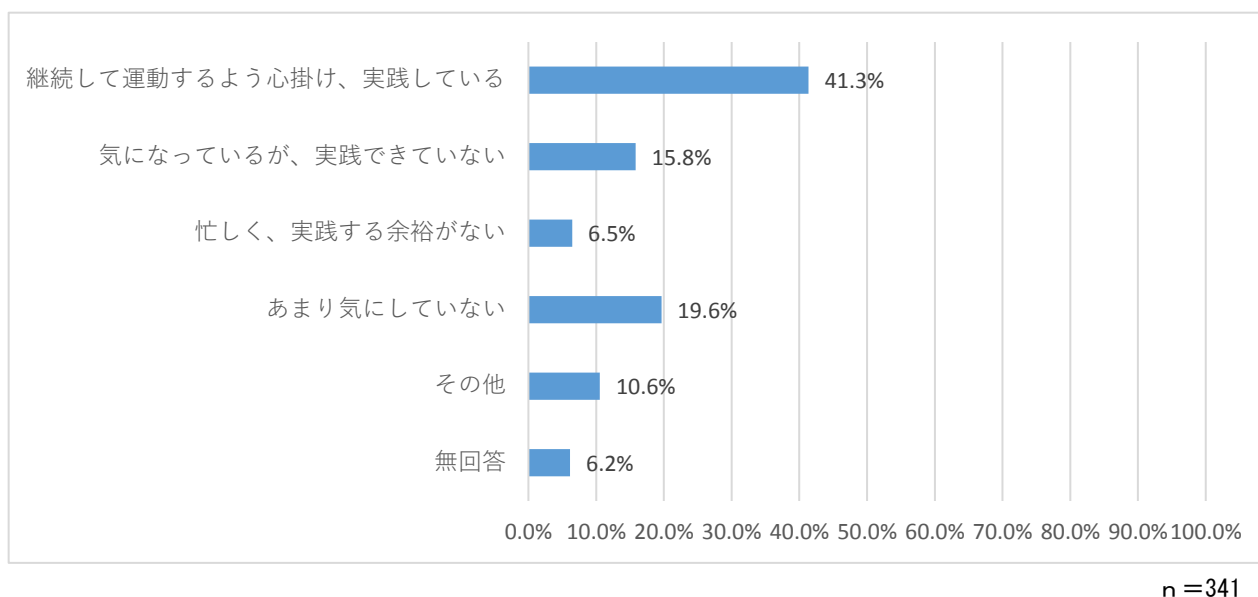
- 年代別に見ると全ての年代で「健康的な食生活を心掛け、実践している」が最も多い。次いで多いのは40代・60代・70代では「あまり気にしていない」が、50代では「気になっているが、実践できていない」が多い



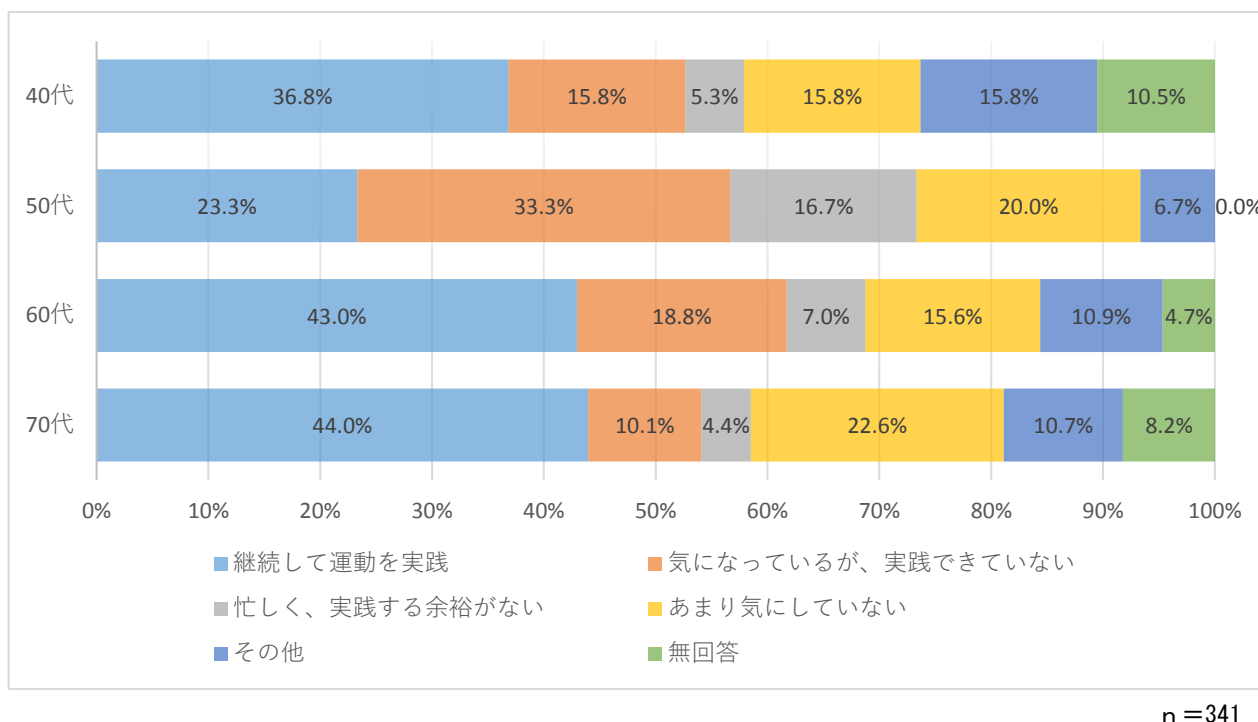
n=341

問7 運動習慣について（1つ選択）

- 「継続して運動するよう心掛け、実践している」と回答した方が41.3%と最も多い



- 年代別に見ると全ての年代で「継続して運動するよう心掛け、実践している」が最も多い。次いで多いのは40代・60代・70代では「あまり気にしていない」が、50代では「気になっているが、実践できていない」が多い



Ⅲ まとめ

- (1) 未受診理由について「定期的に通院しているから」と回答した方が最も多く、年代別に見ても傾向は変わらなかった。また、その他の意見では新型コロナウイルスの感染予防のため受診控えをしている方も多くみられることや、問3の健診を受けやすくなる方法で、その他に「かかりつけ医で受診できるようにして欲しい」という意見や交通手段についての意見が見られたことから、個別健診（かかりつけ医での受診）やかかりつけ医からの受診勧奨について検討する必要がある。
- (2) 未受診理由について「市の健診以外で受診しているから」が2番目に多かったことから、職域健診等の市の健診以外で実施した健診データの提供について積極的に依頼する。
- (3) 健診を受けやすくなる方法については「受診料が無料になる」が最も多かった。年代別・職業別にみた場合でも「受診料が無料になる」と「土日祝日の健診日程を増やす」が上位を占めたことから、受診料の無料化や土日祝日の健診日程の増加等を検討する必要がある。ただし、無料化については財源である国民健康保険税に直結する問題であるため、慎重に検討しなければならない。
- (4) 健診を受けやすくなる方法について「健診内容や必要性が分かりやすい」が3位（その他・無回答除く）であることや、無回答とした方のほとんどが未受診理由を「定期的に通院しているから」と回答した方であったことから、健診の内容や必要性について、分かりやすくアピールする必要がある。

アンケートの結果、年代や職業などの属性により、それぞれの設問に差が見られたことから、受診勧奨等の際にはそれぞれの属性に応じたアプローチを検討する必要がある。

IV 資料編

特定健康診査に関するアンケート調査 アンケート用紙

問1 あなた自身のことについてそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください

性 別	1. 男	2. 女	3. その他
年 代	1. 40代	2. 50代	3. 60代 4. 70代
お住まいの地域	() 町		
職 業	1. 常勤 4. 家事専従	2. 非常勤・パートタイム 5. 無職	3. 自営業
家 族 構 成	1. 単身世帯（ひとり暮らし） 3. 二世帯世帯（親と子 など） 2. 一世帯世帯（夫婦のみ、きょうだいのみ など） 4. 三世帯以上の世帯（親と子と孫 など）		

問2 今年度健診を受診しなかった理由はなぜですか？あてはまる番号全てに○をつけてください。

1. 忙しいから → 具体的な理由についてあてはまるもの1つに○
仕事 ・ 家庭（育児・介護など） ・ その他（ ）

2. 市の健診以外（職場の健診、家族の被扶養者の健診等）で受診しているから

3. 人間ドックを受診しているから

4. 定期的に通院しているから

5. 健康だと思うので必要ないから

6. 内容や必要性などがよく分からないから

7. 受診料がかかるから（令和3年度の受診料は1,000円です）

8. その他（ ）

問3 どうすれば健診を受けやすくなりますか？あてはまる番号全てに○をつけてください。

1. 土曜、日曜、祝日の健診を増やす

2. 夜間健診の日を増やす

3. 受診料が無料になる

4. 家庭や職場の環境が整備される
→ 具体的な内容について記入（例：子どもを預けられる、職場の休みが取りやすくなる など）
()

5. 健診の内容や必要性が分かりやすく説明されている

6. 受診したことに対して健康チャレンジポイント以外の特典がある

7. その他（ ）

裏面にも質問があります



問4 あなたの健康状態の把握方法について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 定期的に通院して、主治医の支援を受けている
2. 定期的に通院しておらず、健診も受けていないが、心配な時に通院をしている
3. 市の健診以外（職場の健診、人間ドックなど）を定期的に受診している
4. 健康状態について十分に把握できていない
5. その他（ ）

問5 現在服用している薬はありますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 服用していない
2. 服用している → 服用している薬についてあてはまるもの全てに○
血圧を下げる薬 ・ 血糖を下げる薬 ・ コレステロールを下げる薬
その他（ ）

問6 食生活について、最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 健康的な食生活を心掛け、実践している
2. 気にはなっているがどうしたら良いのか分からず、実践できていない
3. 忙しく、実践する余裕がない
4. あまり気にしていない
5. その他（ ）

問7 運動習慣について、最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 継続して運動するよう心掛け、実践している
2. 気にはなっているがどうしたら良いのか分からず、実践できていない
3. 忙しく、実践する余裕がない
4. あまり気にしていない
5. その他（ ）

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて2月22日（火）までにポストに投函してください。

【問合せ】市民課 国保年金係 ☎0193-22-2111（内線231）